

2008年3月期 中間期決算説明会

2007年11月22日(木)
日本ハム株式会社

目次

1. 2008年3月期 中間期連結業績の総括
 - ・ 2008年3月期 中間期連結業績 概要
 - ・ 2008年3月期 中間期連結業績ハイライト
 - ・ 2008年3月期 オペレーティング・セグメント情報
 - ・ 2008年3月期 営業利益の中間期実績前年差および通期修正計画の要因分析
 - ・ 加工事業本部 中間期連結業績状況
 - ・ 食肉事業本部 中間期連結業績状況
 - ・ 関連企業本部 中間期連結業績状況
 - ・ 地域別中間期業績状況

2. 2008年3月期 下期の課題と対策
 - ・ 加工事業本部 下期の課題と対策
 - ・ 食肉事業本部 下期の課題と対策
 - ・ 関連企業本部 下期の課題と対策

3. 2008年3月期 中間期財務データ
 - ・ 販管費・その他収益・その他費用
 - ・ 貸借対照表、設備投資額・減価償却費
 - ・ 2008年3月期 中間期連結業績指標
 - ・ 2008年3月期 中間期単体業績概要及び計画

2008年3月期 中間期連結業績の総括

1. 2008年3月期 中間期連結業績 概要
2. 2008年3月期 中間期連結業績ハイライト
3. 2008年3月期 オペレーティング・セグメント情報
4. 2008年3月期 営業利益の中間期実績前年差および通期修正計画の要因分析
5. 加工事業本部 中間期連結業績状況
6. 食肉事業本部 中間期連結業績状況
7. 関連企業本部 中間期連結業績状況
8. 地域別中間期業績状況

2008年3月期 中間期連結業績概要

(単位: 百万円、%)

連結業績	2007年3月期実績						2008年3月期中間期実績及び下期・通期修正計画					
	中間期	前年 同期比	下期	前年 同期比	通期	前年 同期比	中間期実績	前年 同期比	下期 修正計画	前年 同期比	通期 修正計画	前年 同期比
売上高	485,388	1.8	491,908	1.1	977,296	1.4	506,448	4.3	493,552	0.3	1,000,000	2.3
ハム・ソーセージ	63,634	2.3	68,353	0.8	131,987	1.5	64,131	0.8	68,869	0.8	133,000	0.8
加工食品	92,438	0.8	91,882	1.2	184,320	0.2	92,387	0.1	92,113	0.3	184,500	0.1
食肉	252,269	1.9	258,426	3.7	510,695	2.8	273,660	8.5	259,340	0.4	533,000	4.4
牛肉	104,092	3.2	102,011	0.3	206,103	1.5	107,587	3.4	102,413	0.4	210,000	1.9
豚肉	95,110	3.0	101,137	9.6	196,247	6.3	107,383	12.9	102,617	1.5	210,000	7.0
鶏肉	40,589	5.8	46,119	4.3	86,708	0.7	48,148	18.6	46,852	1.6	95,000	9.6
その他食肉	12,478	11.8	9,159	13.0	21,637	0.2	10,542	15.5	7,458	18.6	18,000	16.8
水産	44,134	8.5	39,219	6.2	83,353	1.0	42,218	4.3	39,782	1.4	82,000	1.6
乳製品	10,929	1.4	10,903	2.7	21,832	0.6	10,637	2.7	10,863	0.4	21,500	1.5
その他	21,984	5.5	23,125	0.3	45,109	2.8	23,415	6.5	22,585	2.3	46,000	2.0
売上原価	395,588	2.4	394,221	0.7	789,809	0.8	414,614	4.8				
売上総利益	89,800	0.9	97,687	8.8	187,487	3.9	91,834	2.3				
売上総利益率	18.5%	0.5	19.9%	1.5	19.2%	0.5	18.1%	0.4				
販売費及び一般管理費	83,819	0.2	87,246	1.1	171,065	0.4	85,749	2.3				
営業利益	5,981	10.1	10,441	205.2	16,422	63.0	6,085	1.7	8,915	14.6	15,000	8.7
税引前利益	4,453	9.4	9,215	-	13,668	485.4	429	-	6,429	30.2	6,000	56.1
当期純利益	2,533	17.5	8,853	-	11,386	1096.0	2,229	-	5,229	40.9	3,000	73.7
所在地別セグメント状況												
国内売上高	438,817	0.6	445,020	0.8	883,837	0.7	455,741	3.9	448,259	0.7	904,000	2.3
国内営業利益	6,290	9.3	10,574	159.2	16,864	53.1	8,147	29.5	-	-	-	-
国内売上高営業利益率	1.4%	0.2	2.4%	1.5	1.9%	0.6	1.8%	0.4	-	-	-	-
海外売上高	91,154	10.8	91,609	2.1	182,763	6.2	97,865	7.4	91,135	0.5	189,000	3.4
海外営業利益	232	-	376	-	608	-	2,318	-	-	-	-	-
海外売上高営業利益率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

* 米国会計基準を組替えて表示しております。

* 所在地別セグメント状況の売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。

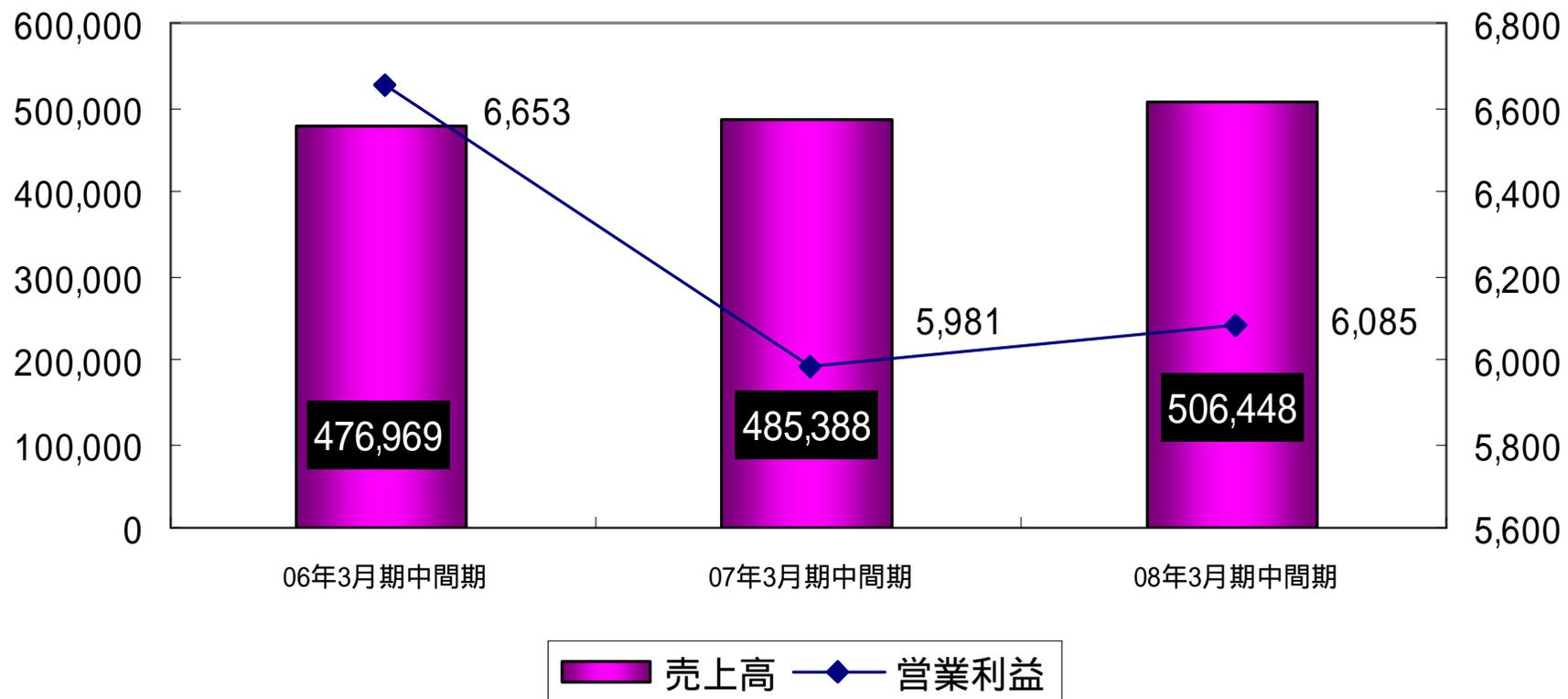
* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

中間期連結業績ハイライト

【売上高 営業利益推移】

(売上高:百万円)

(営業利益:百万円)



オペレーティング・セグメント情報

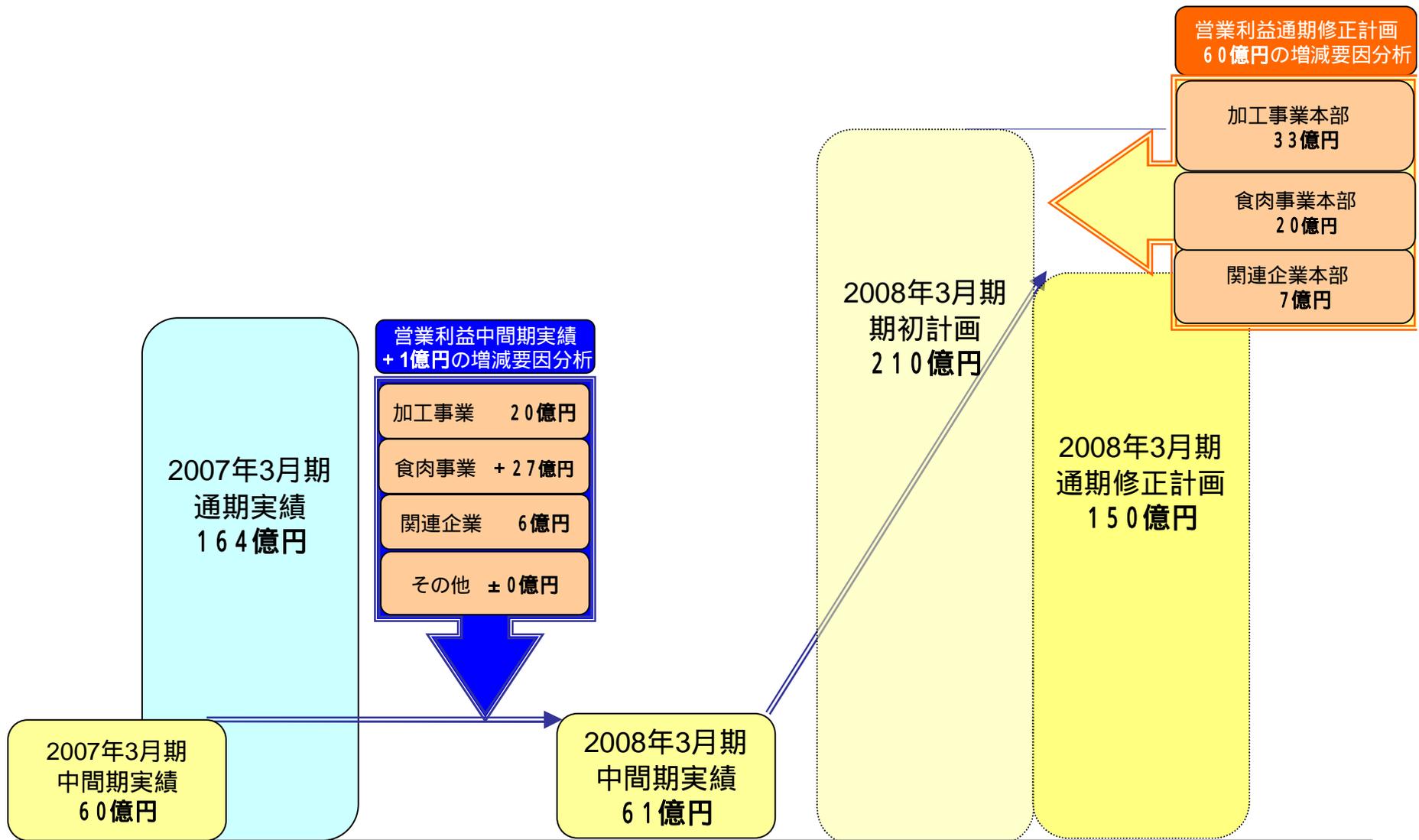
(単位:百万円・%)

	2007年3月期中間期実績			2008年3月期中間期実績		
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率
加工事業本部	152,532	2,230	1.5	155,961	260	0.2
食肉事業本部	314,696	4,021	1.3	339,460	6,723	2.0
関連企業本部	83,057	195	-	79,458	810	-
消去・調整他	64,897	75	-	68,431	88	-
連結合計	485,388	5,981	1.2	506,448	6,085	1.2

オペレーティング・セグメント情報の売上高と、当資料P.3の品種別の売上高の数値は一致しません。

各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。

営業利益の中間期実績前年差および通期修正計画の要因分析



加工事業本部 中間期連結業績状況

(単位:百万円、%)

	2007年3月期 中間期実績	2008年3月期 中間期実績	前年差	増減率
売上高計	152,532	155,961	3,429	2.2
外部顧客に対する売上高	145,933	149,397	3,464	2.4
セグメント間の内部売上高	6,599	6,564	35	0.5
営業費用	150,302	155,701	5,399	3.6
営業利益	2,230	260	1,970	88.3

【売上高の状況】

- ・ハム・ソーセージ、加工食品ともに、コンシューマー用商品は販売好調。
- ・一方、業務用商品は、競争の激化により苦戦。
- ・加工事業本部トータルでは、前年比約34億円の増収。

【営業利益の状況】

- ・ハム・ソーセージ事業部は、前年度の値上げ効果で若干の改善。
 デリ商品事業部は、販売数量は増加したが、原料・資材価格の高騰と、業務用商品の価格競争激化により減益。
- ・加工事業本部トータルでは前年比約20億円の減益。

食肉事業本部 中間期連結業績状況

(単位:百万円、%)

	2007年3月期 中間期実績	2008年3月期 中間期実績	前年差	増減率
売上高計	314,696	339,460	24,764	7.9
外部顧客に対する売上高	268,987	290,809	21,822	8.1
セグメント間の内部売上高	45,709	48,651	2,942	6.4
営業費用	310,675	332,737	22,062	7.1
営業利益	4,021	6,723	2,702	67.2

【売上高の状況】

- ・全体的に食肉相場が安定的に推移。
- ・特に豚、鶏に関しては、主に国産の取り扱いが増加し、販売数量も伸長。
- ・食肉事業本部トータルでは、前年比約248億円の増収。

【営業利益の状況】

- ・豪州牛肉事業が、穀物飼料価格高騰、豪ドル高などの影響を受け、苦戦。
- ・一方、国内食肉事業が、生産・販売ともに好調に推移し、海外の落ち込みをカバー。
- ・食肉事業本部トータルとしては、前年比約27億円の増益。

(単位:百万円、%)

	2007年3月期 中間期実績	2008年3月期 中間期実績	前年差	増減率
売上高計	83,057	79,458	3,599	4.3
外部顧客に対する売上高	75,231	71,982	3,249	4.3
セグメント間の内部売上高	7,826	7,476	350	4.5
営業費用	83,252	80,268	2,984	3.6
営業利益	195	810	615	-

【売上高の状況】

- ・マリンフーズは、価格改定の影響などもあり、量販店などで売上が伸び悩み減収。
- ・宝幸は、水産事業は苦戦したが、自社製品を中心とした乳製品事業が好調で増収。
- ・日本ルナは、前年度好調であった業務用ヨーグルトソースの伸び悩みなどにより減収。

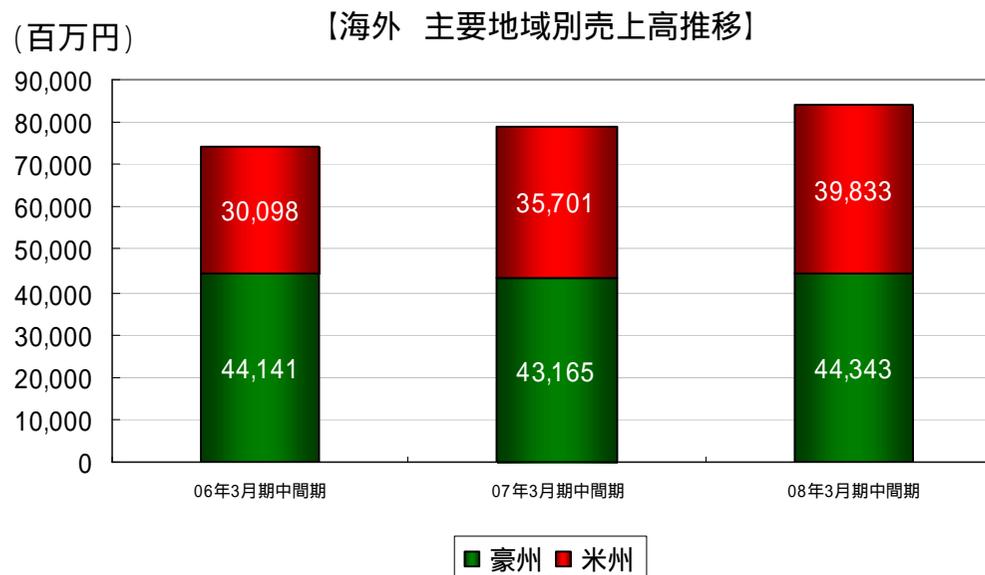
【営業利益の状況】

- ・水産、乳製品、その他加工品ともに、原材料価格の高騰の影響を受けた。
- ・値上げや原料調達の改善を実施したが、関連企業本部トータルでは、前年比約6億円の減益。

地域別中間期業績状況



売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。



売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。

海外売上は、豪州と米州で約80%前後を占めております。その他海外は、アジア、欧州となっております。

米州には、北米と南米の事業が含まれます。

【地域別の売上高の状況】

- ・日本国内は、食肉相場が堅調に推移したこともあり3.9%の増収。
- ・豪州は、牛肉の販売価格上昇などにより、前年比2.7%の増収。
- ・米州は、豚生体の相場上昇と、養豚事業の拡大に伴う出荷頭数の増加により、前年比11.6%の増収。

【地域別利益の状況】

- ・日本国内は、原料・資材価格高や飼料高など厳しい状況が続いたが、増収効果により増益。
- ・豪州は、穀物飼料価格の高騰、豪ドル高などにより減益。
- ・米州も、養豚事業の飼料価格高騰などにより減益。

2008年3月期 下期の課題と対策

1.加工事業本部 下期の課題と対策

2.食肉事業本部 下期の課題と対策

3.関連企業本部 下期の課題と対策

課題1. 主原料・副資材価格の高騰

- ・豚肉を中心とした主原料価格、原油高による副資材価格の高騰により、年間で約60億円のコストアップを見込む。

	期初見込み	中間期決算時見込み
主原料価格上昇額	18億円	33億円
資材価格・物流費等上昇額	12億円	27億円
合計	30億円	60億円

課題2. 販売価格の低下

- ・競争の激化による影響
- ・バイイングパワーの影響
- ・安価な輸入品の増加による影響

課題3. 売上の拡大

- ・新商品の開発・販売の強化
- ・業務用の販売数量の回復
- ・歳暮ギフトの拡大

対策

9月より、ハム・ソーセージ、加工食品ともに値上げを実施。

下期の効果額は26億円を見込む。

消費者商品については、ハム・ソーセージ、加工食品ともに、規格変更での値上げとなったためほぼ計画通りに進捗。

業務用については、規格変更も含めて取り組み中。年内に改定を完了。

ハム・ソーセージを中心に、自社原料を使った高付加価値商品の開発を進める。

競争力の向上。

- ・生産部門におけるコスト削減策の継続。
- ・SCM改革の推進。
- ・営業部門の再編。

対策

消費者商品は、展示会新商品の開発・販促を図る。

営業部門におけるエリア商談を強化。

業務用は、新メニュー、新規格商品を投入し、CVSベンダー向けの売上回復を図る。

歳暮ギフトの目標

- ・基幹ブランドの「美ノ国」を中心としたプレミアムギフトの販売を推進。

(単位:千個・百万円)

	歳暮ギフト販売個数	歳暮ギフト販売金額
2007年3月期実績	4,485	12,275
2008年3月期目標	4,950	14,291
前年比	110%	116%

課題1. 豪州事業の状況

- ・飼料価格の高騰
- ・販売価格の伸び悩み
- ・為替の影響

対策

- ・豪州のグループ各社で、コストダウンを実施。
- ・飼料配合の変更や、肥育期間の見直し。
- ・パッカー各社での、製品歩留まりの向上への取り組み。
- ・米国、ロシア、香港など、高付加価値で売れる新市場の開拓・拡販。
- ・不採算事業についての早期の抜本的な改革案を策定中。

課題2. 米国事業の状況

- ・とうもろこしを中心とした飼料価格の高騰
- ・米国全体での豚生体供給量増加による相場の伸び悩み
- ・加工食品の販売数量の伸び悩み

対策

- ・養豚事業では、生産コストの削減を実施。
- ・自社農場での預託用子豚の生産
- ・預託事業による数量拡大、飼料コストの低減。
- ・取り扱い数量増による1頭当たりの生産コストの低減。

加工食品の販売については、加工事業本部より、現地に専門要員を補強。米国内での加工食品事業の拡大を図る。

課題3. 国内生産事業の状況

- ・飼料価格の高騰
- ・国産品の取扱量の拡大
- ・安全・安心な品質への取り組み

対策

- ・消費者の国産志向に対応。
- ・販路拡大や、新規得意先の開拓を実施。
- ・ホワイトファーム(養鶏)では、出荷羽数を増加。
- ・和牛預託事業の拡大。
- ・インテグレーションによるトレーサビリティや、外部認証規格(SQF)を活かした、安全安心な商品の提案、ブランド商品の定着化を推進。

課題1. 水産事業の状況

- ・世界的な主原料価格の高騰
- ・利益率の高い水産加工品の取り扱い量の拡大

対策

- ・順次、相場に応じた価格改定を実施。
- ・最大の需要期である年末商戦で、ギフトやカニなどの高価格帯商品を拡販。
- ・第三国へ向けて、日本食レストランなどもターゲットにした水産加工品の輸出を拡大。

課題2. 乳製品事業の状況

- ・主原料価格の高騰
- ・工場稼働率の改善

対策

- ・価格改定を順次実施し、原料高の対応を図るとともに、新商品の開発・拡販を推進。
- ・バニラヨーグルトに次ぐ定番商品の開発。
業務用乳加工品の開発。
- ・業務用ルート(製パン、CVSベンダー)の商談強化。
販売数量の増加を図り、稼働率を改善。

2008年3月期 中間期財務データ

1. 販管費・その他収益・その他費用
2. 貸借対照表、設備投資額・減価償却費
3. 2008年3月期 中間期連結業績指標
4. 2008年3月期 中間期単体業績概要及び計画

連結業績概要(販管費・その他収益・その他費用)

(単位:百万円、%)

販管費	2007年3月期	中間期実績	2008年3月期	
	中間期実績		対前年増減率	対前年増減額
販売費及び一般管理費	83,819	85,749	2.3	1,930
人件費	35,663	37,007	3.8	1,344
販売促進費	7,501	6,594	12.1	907
物流費	16,877	17,444	3.4	567
その他	23,778	24,704	3.9	926

主な増減要因

- ・人件費 : 一部子会社の退職給付金制度の変更などにより、前年比で約13億円の増加となった。
- ・物流費 : 原油価格の高騰などにより、前年比で約6億円の増加となった。
- ・全体での販管費は、前年比で約19億円の増加となったが、販管費率は0.4ポイント減少となった。

(単位:百万円、%)

連結その他収益・その他費用	2007年3月期	中間期実績	2008年3月期	
	中間期実績		対前年増減率	対前年増減額
その他収益合計	758	1,674	120.8	916
受取利益・配当金	435	469	7.8	34
その他	323	1,205	273.1	882

支払利息	1,353	1,409	4.1	56
その他費用合計	933	6,779	626.6	5,846
有価証券評価、売却損	14	121	764.3	107
固定資産減損	301	2,499	730.2	2,198
特別退職金	138	3,107	2,151.4	2,969
その他	480	1,052	119.2	572

主な増減要因

- ・その他収益 : 主に為替差益などにより、前年比で約9億円の増加となった。
- ・その他費用 : 子会社への転籍などによる特別退職金と、子会社の固定資産減損などにより、約58億円の増加となった。

連結業績概要 (貸借対照表、設備投資額・減価償却費)

(単位:百万円、%)

連結貸借対照表	2007年3月期 期末実績	2008年3月期 中間期実績	対前期末 増減率	対前期末 増減額
資産合計	612,933	619,672	1.1	6,739
現預金・定期預金	41,112	33,111	19.5	8,001
売上債権	116,248	125,199	7.7	8,951
棚卸資産	114,638	123,108	7.4	8,470
投資及び長期債権	38,049	34,747	8.7	3,302
有形固定資産	257,591	253,972	1.4	3,619
長期繰延税金資産	13,394	10,169	24.1	3,225
負債合計(少数株主持分含む)	314,505	328,067	4.3	13,562
支払手形及び買掛金	94,021	102,362	8.9	8,341
有利子負債	171,211	174,129	1.7	2,918
退職金及び年金債務	12,919	11,994	7.2	925
資本合計	298,428	291,605	2.3	6,823

主な増減要因

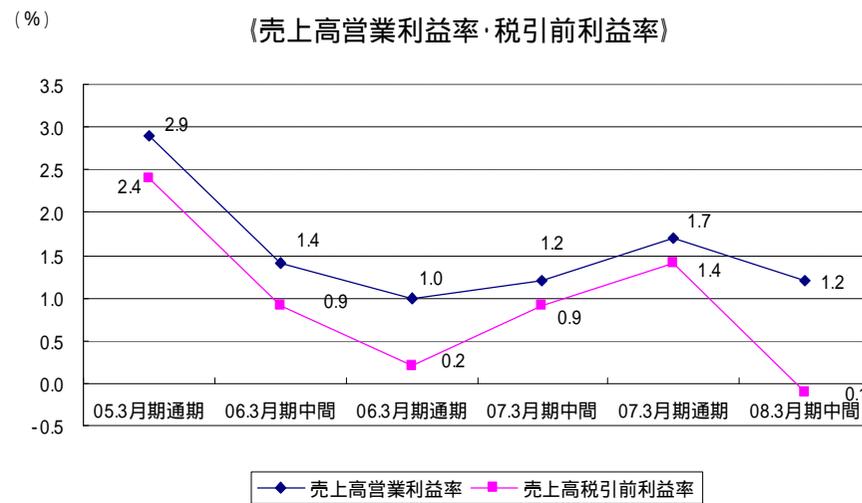
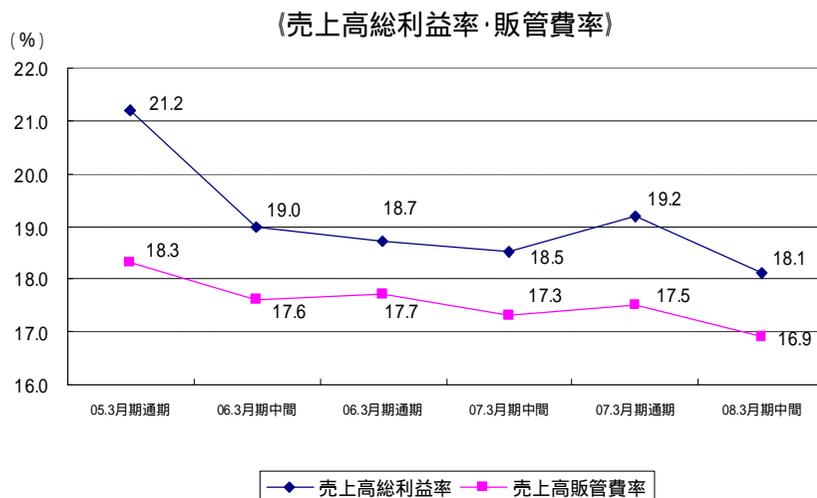
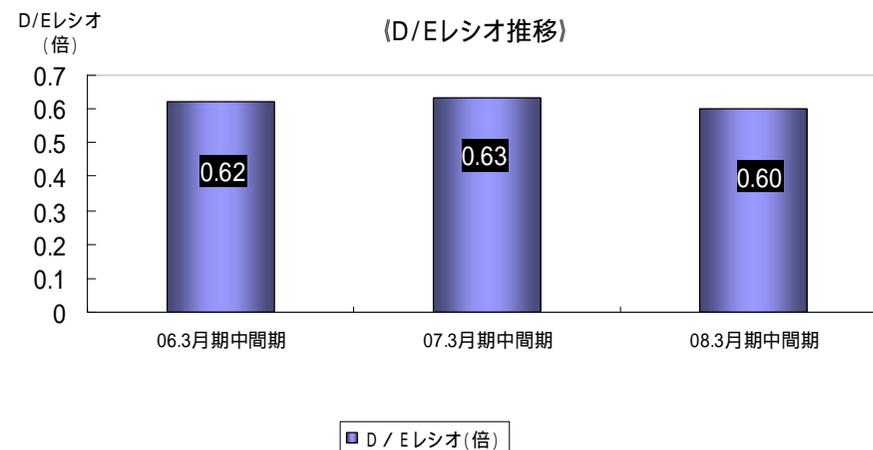
- ・棚卸資産 : 年末用加工原料の確保などにより、前期末比で約85億円の増加となった。
- ・売上債権 : 売上増などにより、約90億円増加となった。

(単位:百万円、%)

(設備投資額、減価償却費)	2007年3月期	2008年3月期		2008年3月期 通期計画
	中間期実績	中間期実績	対前年増減率	
設備投資額	8,588	9,632	12.2	1,044
生産設備	2,947	3,604	22.3	657
販売・物流設備	912	1,132	24.1	220
ファーム・処理設備	1,542	1,898	23.1	356
海外事業設備	2,216	1,129	49.1	1,087
その他設備	971	1,869	92.5	898
減価償却費	11,327	11,557	2.0	230

2008年3月期 中間期連結業績指標

経営指標	2006年3月期 中間期実績	2007年3月期 中間期実績	2008年3月期 中間期実績
売上高総利益率(%)	19.0	18.5	18.1
売上高営業利益率(%)	1.4	1.2	1.2
売上高税引前利益率(%)	0.9	0.9	0.1
売上高当期純利益率(%)	0.6	0.5	0.4
売上高原価率(%)	81.0	81.5	81.9
売上高販管費率(%)	17.6	17.3	16.9
総資産(百万円)	615,086	609,605	619,672
株主資本(百万円)	283,283	290,188	291,605
株主資本比率(%)	46.1	47.6	47.1
一株当り株主資本(円)	1,241.00	1,271.33	1,277.86
一株当り当期純利益(円)	13.46	11.10	9.77
D/Eレシオ(倍)	0.62	0.63	0.60
キャッシュフロー (単位:百万円)			
営業活動によるキャッシュフロー	17,810	976	1,738
投資活動によるキャッシュフロー	10,120	8,200	7,186
財務活動によるキャッシュフロー	3,200	5,990	1,817
期末現金及び預金残高	42,063	25,946	27,217



2008年3月期 中間期単体業績概要

(単位:百万円、%)

単体業績	2007年3月期実績						2008年3月期中間期実績及び下期・通期修正計画					
	中間期	前年 同期比	下期	前年 同期比	通期	前年比	中間期実績	前年 同期比	下期 修正計画	前年 同期比	通期 修正計画	前年比
売上高	305,288	0.6	314,457	0.0	619,745	0.3	324,942	6.4	320,058	1.8	645,000	4.1
ハム・ソーセージ	50,477	0.2	53,524	1.6	104,001	0.9	50,734	0.5	53,766	0.5	104,500	0.5
加工食品	68,397	0.2	67,939	2.6	136,336	1.4	68,298	0.1	68,202	0.4	136,500	0.1
食肉ほか	186,414	0.9	192,994	1.4	379,408	0.3	205,910	10.5	198,090	2.6	404,000	6.5
牛肉	65,453	1.9	65,329	1.4	130,782	1.6	70,885	8.3	67,115	2.7	138,000	5.5
豚肉	72,768	2.9	74,315	2.9	147,083	2.9	80,032	10.0	75,968	2.2	156,000	6.1
鶏肉	37,242	5.8	41,858	3.3	79,100	1.2	43,946	18.0	43,054	2.9	87,000	10.0
その他	10,951	1.3	11,492	2.5	22,443	0.6	11,047	0.9	11,953	4.0	23,000	2.5
売上原価	272,274	1.1	277,195	0.3	549,469	0.4	290,775	6.8				
売上総利益	33,014	13.1	37,262	2.8	70,276	5.4	34,167	3.5				
販売費及び一般管理費	34,365	8.2	34,577	8.4	68,942	8.3	32,434	5.6				
営業利益	1,351	-	2,685	-	1,334	-	1,733	-	2,267	15.6	4,000	199.9
経常利益	1,588	47.2	3,716	-	5,304	110.5	9,386	491.1	2,614	29.7	12,000	126.2
当期純利益	374	-	1,195	-	1,569	-	4,190	1020.3	810	32.2	5,000	218.7

前年比は、対前年増減比で表示しております。

〒141-6014 お問合せ先
東京都品川区大崎2 - 1 - 1
ThinkPark Tower 14階
日本ハム株式会社 広報部
電話:03-6748-8024
FAX:03-6748-8189

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。従って、これら業績見通しのみで全面的に依拠することはお控え頂きますようお願い致します。また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。